

『校長 vision』

校 長 武井 正明

『校長 vision』の昨日の訪問回数が 10021!! 初めて 1 万回を越えました。『学校日記』は 34885 回でした。昨年アクセス 600 から始めてから、ここまで多くの皆様からお読みいただけたとは、思っていませんでした。本当にありがたいことです。

前任の加茂須田中は全校 37 人、お互いの顔も性格も分かる家族のような素晴らしい学校で、私は新任校長として、掛け替えのない財産をいっぱいいただきました。

そこから 20 倍近い全校生徒 571 人の吉田中学校に赴任することが決まって、どうしたら須田中のように、今の自分の思いを、出来るだけ早く、ありのまま伝えられる、自分らしい学校づくりができるか、考えた末に思いついたのが『校長 vision』です。

きっかけは玉置浩二です。彼はファンの名前を知らないのに、ファンは玉置浩二のことを（一面にすぎませんが）よく知っている。そして彼の歌や音楽を愛している…。

そうだ。自分も学校だよりの巻頭言のようなものを、可能な限り発信し続けていけば、自分のことを理解してくれる人が増えていくのではないか。苦情やお叱りもあるかもしれないけれど甘んじて受け入れよう、怖れずとにかくやってみよう、と決めたのです。だから、吉中赴任最初の仕事は、この立ち上げでした。

以前、私の好きな俳優、椎名桔平（永遠の「時をかける少女」原田知世をオレから奪ったにつくき男）が主演したドラマで「刑事のまなざし」というのがありました。この主人公夏目刑事みたいに、子どもの心に寄り添う校長になりたいな、と思っていたので、実は『校長のまなざし』が最初の題名だったのです。（ちょっと気障だね）

しかし、当時の川田教頭に話すと「う〜ん…それより校長ビジョンってどうですか？」と返ってきました。近くに「ビジョン吉田」もある。馴染みのある単語だ。よし、ここは川田教頭の意見を受けて『校長 vision』にしよう、となったわけです。

今では「家に帰るとまず『校長 vision』読むのが自分のルーティンです」と話してくれる女子生徒もいます。そして「vision 読んでます」と声を掛けてくれる生徒も多いです。すっかり「vision」で定着したわけですから、川田教頭のセンスは、さすがです。

さらに嬉しいのが、吉中卒業生の皆さん、野球部顧問時代からの「戦友たち」、教員仲間、地域の方々、先輩方から「いつも読んでます」のお声掛けをいただくことです。

言葉は「諸刃の剣」です。常に肝に銘じながら、読んでくださる皆様に、心に響くメッセージが伝えられるよう、これからも言葉を磨き精進してまいります。

夏休み中も、随時発信しますので、これからも『校長 vision』、可愛がってあげてください。よろしくお願いいたします。